

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-3 青少年の健全な育成の推進
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	青少年家庭課長 黒田利恵	電話番号	0852-22-5242
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	(青少年を取り巻く地域環境浄化事業)		
目的	(1) 対象	青少年及び青少年を取り巻く大人	
	(2) 意図	青少年にとって有益な地域環境づくりを進める。	
事業概要	青少年を取り巻く環境の整備を進めるため、青少年の健全な育成に関する条例の規定に基づき、図書販売業者等に対して立入調査等を実施するとともに、青少年の適切なインターネット利用を図るための広報啓発活動を推進する。		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	健全育成条例の規定に基づき、適正な図書類の取扱いや営業を行っている店舗の割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		49.00	56.00	63.00	70.00	
式・定義	立入調査の結果、条例に基づく適正な取扱いを行っている店舗数/立入調査を行った店舗数×100	実績値	41.10	63.60	52.60	69.80		
		達成率		129.80	93.90	110.80		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	
うち一般財源(千円)	0	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県内の対象施設約600店舗中159店舗に対して立入調査を実施し、うち111店舗では条例に基づく適正な取扱いが行われていた。過去の調査結果を基に、継続的な立入調査を行った結果、条例の規定が概ね遵守されており、対象施設においてもその認識が深化している。平成26年度、警察庁の行った「携帯電話販売店に対するフィルタリング推奨状況等実態調査」において、島根県の総合評価は「説明・推奨は非常に良好もしくは適切」が約5%、「説明・推奨の一部は改善を要する」が約30%、「説明・推奨は不適切」が約15%の結果であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

対象施設のコンプライアンスも向上してきており、有害図書の区分陳列や閲覧防止措置について、改善されている。インターネットの環境整備に関して国（総務省）や県、教育委員会、警察、携帯電話事業者等との連携が図られ、協働した広報啓発活動などを展開した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・コンビニエンスストアで販売されているコンビニコミックやレディースコミックのうち、有害図書に該当するものについて区分陳列等に問題が見られた。
- ・スマートフォン等の購入時に、その仕組みやフィルタリングに関して保護者が理解していない。
- ・フィルタリングの利用について子供の意見に左右されている。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・有害図書に該当するコンビニコミック等については、表紙のみでは有害図書に該当するか否か判断できないものがあり、陳列に際して内容の確認が不十分であるため。
- ・インターネット利用の危険性について、とりわけ保護者が具体的に理解していない。

③原因を解消するための「課題」

- ・図書類の陳列についての立入調査の際の指導の徹底（特にコンビニコミックについての内容確認など）が必要である。
- ・青少年の保護者をはじめ、教職員や青少年の育成に携わる職員、更には社会全体において、インターネット利用の有用性と危険性について理解を深めていく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・立入調査未実施の店舗や過去に指導を受けた店舗を中心に、引き続き計画的な立入調査を行い、個別指導に合わせて条例の周知を図っていく。
- ・インターネットの危険性のみを取り上げることなく、その有用性を踏まえた適切な利用を青少年のみならず、保護者を含め社会に対して広報啓発を図っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）